

日刊 磐城時報

印刷物は 加納活版所

電話 二一三

訂金 一月 十元 三月 三十元 半年 六十元 一年 一百元

廣告料 一行 十文字 一日 五元 十日 四十元 一月 一百元 三月 三百元 半年 五百元 一年 九百元

印刷部 石城郡平町 加納町 十四

編輯部 石城郡平町 加納町 十四

發行所 石城郡平町 加納町 十四

電話 二一三

印刷部 石城郡平町 加納町 十四

編輯部 石城郡平町 加納町 十四

發行所 石城郡平町 加納町 十四

電話 二一三

玉手箱は開く

混雑を極める投票場 四候補の運命や如何?

第三區の開票は、石城郡内は平務官で、各候補者の開票立會人小川、植田の三開票並に相馬は木村候補三森虎雄氏、佐藤候補の内村開票並に四區は二十補鈴木重助氏、比佐候補吉田寅一日午前七時から開票に着手し之輔氏、氏家候補山野邊義政氏た、平開票區の管理者は酒井事の各氏で、先着の飯野村から順

石城の棄權

少なかつた

郡產馬畜産組合では二十八日午前十時から同組合議堂に總會し合せたやうに不安の色を漂は

開票結果を待つ

四候補者の事務所

豫想より投票が多いので 上氣嫌の佐藤事務所

南町比佐候補の事務所でも同様秋原事務長、若松縣會議員等が候補者と共に不安の色を漂はして各地の情報を手にし成績割合に良好なので上氣嫌である (正午記)

卓球大會

平卓球協會主催第二回濱三郡卓球大會は三月二日午前九時から平町常磐銀行支店樓上で行われ、希望者は二月二十八日迄平町田町大塚運動具店方平卓球協會宛申込むべし。

第三區開票結果 (廿一日午後五時迄 本社着電の分)									
町	村	有權	投票	棄權	木村	佐藤	比佐	氏家	
平	植	4,298	3,957	306					
植	田	1,065			447	30	526	1	
勿	來	1,474			442	89	755	8	
江	名	1,081	960	110					
小	濱	1,677	1,485	170					
湯	本	2,678	2,472	179					
四	倉	1,413	1,263	147					
	泉	739			188	81	378	31	
	邊	417			139	44	180	15	
	山	644			398	4	188	1	
	錦	679			306	41	270	1	
	上	920			265	25	445	67	
	入	838							
	川	712			306	45	321	7	
	田	950							
	飯	637	582	45	267	33	276	5	
	夏	534	475	57	129	52	272	19	
	高	531	444	48					
	豊	714	605	102	235	50	241	72	
	鹿	385	355	25					
	玉	459	416	39	63	69	247	30	
	磐	1,823	1,588	241					
	内	5,039	4,359	564					
	好	2,158	1,995	162	392	170	1,256	150	
	亦	1,349	1,239	106	190	194	805	29	
	永	765	652	100	100	91	445	9	
	澤	737	668		52	204	393	7	
	神	687	635	48	81	307	232	13	
	草	870	805	57	378	178	241	4	
	大	878	836	38	623	32	141	27	
	大	813	732	80	341	115	261	5	
	平	640	585	51	253	82	237	3	
	上	835	754	67	249	136	354	9	
	下	614	481	121	41	96	312	16	
	川								
	合	39,865							
	福	812	652						
	金	834	695						
	小	1,254	1,106						
	大	831	723						
	太	603	517						
	石	1,393	1,149						
	原	2,036	1,800						
	高	571	479						
	眞	598	483						
	飯	663	470						
	新	690	532						
	鹿	662	602						
	八	519	447						
	上	903	748	12	330	12	385		
	日	393	340	0	50	11	260		
	飯	676	557						
	磯	393	341						
	八	536	449	4	51	8	375		
	中	2,617	2,176	34	518	81	1,514		
	山	423	308	2	44	3	254		
	駒	497	447	3	245	5	187		
	新	706	639						
	大	759	676	8	156	6	502		
	福	416	362						
	合	19,803							
	久	821	639						
	富	792	706						
	新	773	655						
	浪	1,056	925						
	大	428	392						
	廣	811	730						
	木	627	546						
	龍	742	656						
	上	713	623						
	川	891							
	熊	617	529						
	大	577	521						
	長	480	435						
	諸	533	407						
	幾	423	357						
	大	749	674						
	新	716	616						
	津	406							
	葛	411							
	合	12,557							
	總	72,234							

比佐昌平氏ののみ 絶対優勢を示す

二十一日午後三時迄の分

二十一日午後三時に於ける開票結果は石城郡内は好間、川部、勿來、草野、大野、川前、神谷、泉、渡邊、山田、錦、平窪、小川、植田、飯野、赤井の各町村で、相馬は中村、日立木、八幡山、山上、玉野、大野の各町村であるが、その結果によると

比佐昌平 六・六二四票
木村清治 四・四〇三票
佐藤庄太郎 二・七〇九票
氏家清 三・三九〇票

比佐昌平氏が壓倒的優勢を示してゐる、この分では全部開票すれば約二萬票近くに達するであらうと察せられてゐる。木村清治氏は現在(午後三時)迄の結果によると前回の得票より七百票減少して居り、決して樂觀を許さざる情勢である。氏家氏は相馬、双葉兩郡に於て獨り地盤の觀あり之亦安全候補で、佐藤庄太郎氏は石城に於て殆んど豫想に近い得票あり、相馬郡原町並に双葉の兩開票區は二十二日開票であるから當落全く豫想し難い状態である。

愚庵和尚法會

出身、愚庵和尚が逝いて二十七年に當るので、平町にて法會と遺墨の展覽會を催すべく山崎與三郎氏、伊坂貞正氏等の後援を得て島田忠雄氏が奔走中、三月上旬の豫定である。

巧妙な詐欺

平を荒す怪青年
十八日午後零時半平町野崎町自動車部に十八九歳の一見運轉た。

東電平營業所に 武田前所長來任

電氣料値下げ問題のためか

平町電料値下問題から東部電後來平二十日事務引繼きを受け力會社平營業所が獨斷で斷線送電、同氏は語る「再び皆様の御電を中止した爲め全町民から極世話になる様になりました。古の反感を買つた。これが事象ではあるが従來の營業振りと悪化を恐れ十九日付を以て平は全く變つてをります。全力を以て轉任せしめ、後任として本社下げ問題には觸れず何か確信を營業課長前所長武田精一氏持つてゐる如く欣然として語つた。武田氏は十九日午。

闘鶏賭博 一味の判決

平町通小路に於て行はれた闘鶏賭博事件第二回公判は十九日午前地方裁判所支部法廷に於て高橋判事係り三堂檢事立會ひのもとに開廷。主謀者一名は猶豫平町通小路四六吉田廣

醬油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部専用)二〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話(下谷)五七二番
電話(下谷)六八三二番

石炭の特色

弊店の石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります。

石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません。

目方の正確品質の優良 當店は目方の正確を期する爲に正味十貫目 一俵を六十錢と定めました。

弊店の石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定し居ります。大量生産ですから安く賣る事が出来る強味を持つて居ります。

弊店の石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手数にて御知らせ下さい、御氣に召す様に致します。

平町前 阿部石炭商店
電話二二七番 配達は一俵より致し升

吉田眼科醫院

平町紺屋町
電話八六番

花柳病科 專門

平町六丁目橋際
木村外科病院
電話三〇九番

平町田町(電話五二三番) 高久病院

醫學士 高久忠
新醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

熱心湯のお蔭様よ

「あの丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よ。ほんたうに良く効に、香りだわ。……そして湯の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷科共で僅か二十五錢よ。

「あらさう! それではあたかもこから毎日行くなり、そして丈夫な身体になるわ……」

御待兼の大内巡業部來演
東京歌舞伎名題
嵐 榮三郎
中村 紫子
大谷 紫好
澤村村 右衛門
當る二月二十四日より 聚樂館

耳鼻咽喉科 專門

氣管食道科 專門

病室完備:自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番